

# ア市青年使節団が来訪 ホームステイを体験

平成 21 年 11 月 18 日から 11 月 24 日までの 7 日間、姉妹都市アウクスブルク市の青年 10 名と引率の市職員 2 名、随行通訳 1 名が尼崎市を訪れました。

10 名の青年たちは、18 歳から 22 歳までの高校生や大学生などで、アウクスブルク市の公募に応じ、選考を経て青年使節団員になりました。彼らは、尼崎市内の一般家庭にホームステイするにあたり、事前に日本の文化や生活様式などを学んでいました。

皆、日本に強い関心があり、中には学校で日本語を学習し、流暢に会話できる団員もいました。

## 11 月 18 日

### 大阪城見学

関西国際空港に到着した青年使節団一行は、はじめに大阪城を見学しました。天守閣から大阪のまちを一望し、大阪城公園の紅葉の美しさに感嘆する一方で、どこまでもビルが林立する大阪の街並みに、「アウクスブルク市とは、大きさがまるで違う」と驚いていました。



大阪城天守閣にて

### ホストファミリーとの対面

いよいよ尼崎に到着し、市役所で 10 名の団員たちとホストファミリーが初対面しました。はじめは緊張していた団員でしたが、お互いに自己紹介をするとすぐに打

ち解けた様子で、楽しそうに会話をしながらそれぞれの家庭に帰っていきました。



ホストファミリーと初対面

### ユリアン・ペール(22 歳男性、大学生)

一昨日出発し、昨日の早朝 9 時に大阪に到着しました。空港では日本らしくきっちり時間通りに迎えに来てくれていました。ひどい眠気に襲われつつ、駆け足で大阪城を見学しました。すでに 30 時間も起きています。続いて、分刻みの正確さでヨドバシカメラに向かいました。色とりどりの電化製品が溢れるデパートです。夕方には、ホストファミリーとの対面がありました。そこでの体験は各団員が明日以降書いていきます。わくわくしてきました。

(注) 団員の感想文は、アウクスブルク市青年使節団公式ブログ(アウクスブルク市ホームページ内)より抜粋したものです。

## 11 月 19 日

### 尼崎運河

2 日目は、尼崎港開門(尼ロック)から巡視船に乗り、尼崎の運河と港を視察しました。海のないアウクスブルク市から来た青年たちには新鮮な体験で、船が開門を通過する際の運河の水位の変化などに感心していました。



尼ロックで記念写真

## 寺町散策

次に団員は寺町へ移動し、全昌寺で座禅を体験しました。僧侶の指示に従って手と足を組み、心が無になるように瞑想しました。2名の団員は、自ら申し出て肩を叩いてもらっていました。団員たちは体験後のお茶の席で、寺の住職にお寺の活動や修行について熱心に質問していました。



全昌寺での座禅体験

このほか、大覚寺や長遠寺など江戸時代から続く寺町の散策を楽しみました。

## 世界の貯金箱博物館

世界の貯金箱博物館では、世界各地の色とりどりの貯金箱、特にドイツ製の古い貯金箱に興味深く見学しました。また、見学の最後には博物館の方からドラえものの貯金箱をプレゼントしてもらい、大喜びの様子でした。



世界の貯金箱博物館での見学風景

## 尼信博物館

模型を見ながら尼崎城の説明を受け、団員たちは尼崎の歴史に思いを馳せました。また歴史的な展示品、特

に、重要文化財の太刀の美しさに感嘆していました。



尼信博物館の見学風景

## 園田学園女子大学との青年交流会

最後に、園田学園女子大学の学生との交流会に参加しました。

日本語や英語で大学の専攻や日本文化について直接意見交換し、互いの理解を深めました。また茶道部による御点前が披露され、着物の華やかさや和菓子の美しさに興味津々の様子でした。



みんなで乾杯！

## 11月20日

### ヤンマー株式会社尼崎工場の見学

姉妹都市提携のきっかけを作ったヤンマー株式会社尼崎工場を視察しました。アウクスブルク市の機械製造業である MAN 社から贈られた世界最古のディーゼルエンジンの展示に、皆、感慨深げでした。



ヤンマー尼崎工場の見学風景

## 尼崎産業高校

続いて団員は尼崎産業高校の英語の授業に「新入生」として飛び入り参加しました。

団員たちは生徒たちとすぐに打ち解け、一緒に折り紙や坊主めくりを楽しみました。日本の伝承文化を取り入れた授業は大好評で、団員の一人は、「今までとは一味違う楽しい訪問だった」と喜んでいました。



産業高校の生徒たちとふれあう団員たち

書道の授業では「愛」という字にチャレンジしました。先生の指導を受け、生徒に書き順を確かめながら、見よう見まねで何度も練習していました。最後に色紙に仕上げ、自分の作品として持ち帰りました。



「愛」を練習する団員



完成した作品を手に記念写真

尼崎産業高校での授業参加や交流は、受け入れた高校生にとっても、訪問した団員にとってもお互いに良い刺激となり、忘れがたい思い出となりました。

## 文化財収蔵庫

その後、団員は文化財収蔵庫に向かいました。そこで尼崎の歴史に関する展示を見学した後、体験教室で昔の糸紡ぎや機織りなどをボランティアスタッフの方に教わりました。



糸紡ぎの方法を教わる団員

## 尼崎市表敬訪問

次に、尼崎市長と市議会議長を表敬訪問するため市役所を訪れ、温かい歓迎を受けました。白井市長からは、記念品として、スタンド付き精密ボールペンが、蔵本市議会議長からはネクタイピン(男性)とブローチ(女性)が団員一人ひとりに贈られました。

その後、団員たちは和やかな雰囲気の中で言葉を交わし、日本の食べ物や日本語学習の話で盛り上がりました。



尼崎市特別会議室にて

### 歓迎夕食会

続く歓迎夕食会では、日独の生活や文化の違いについて大いに語り合いました。



歓迎夕食会の様子

#### マルヴィン・ゲルナルト(18歳男性、高校生)

今日のプログラムも昨日、一昨日同様によく計画されていて、まずヤンマー株式会社の尼崎工場を訪問しました。そこでは、特に環境に優しい技術に驚嘆しました。

次に向かった高校では、生徒と一緒に多くの写真を撮り、日本で有名な書道家と生徒たちが漢字の書き方を教えてくれました。今日色紙に書いた漢字を、家の中で飾れるように掛け軸までいただきました。この学校は今までで一番楽しい訪問先となりました！

私たち皆が優しく親切なホストファミリーに迎えられ、私が聞いた限りでは、皆が家族とうまく意思の疎通ができていたようでした。

## 11月21日

### 広島視察

4日目は平和研修です。団員たちは広島を訪れ、厳島神社の造りの美しさに「日本に来て今まで見た中で最も美しい場所だ！」と感動していました。

その後、広島平和記念公園に向かい、広島平和都市記念碑(原爆慰霊碑)に献花し、資料館で原爆に関する歴史を学びました。



広島平和都市記念碑の前で

#### グレゴア・フライ(21歳男性、大学生)

昨夜の白井市長の歓迎夕食会では、まるで本物の外交官になったかのように感じました。

今日は新幹線にりましたが、ドイツのものより時間に正確で、本当に助かります。2時間ほど乗りましたが、車窓から見た印象では、日本という国が市街地と市街地が境目もなくひとつに繋がった都市国家のようでした。

宮島口に到着した後、フェリーで厳島神社に向かいました。そこで日本の伝統的な建築物を見ましたが、ここが今まで見た中で最も美しい場所でした。

その後、市電で広島に向かいました。車中で私は立ちながら寝ていたようで、団員からたくさん写真を撮られていました。

その後、平和記念資料館を見学しました。人類がその歴史から何かを学ぶことを祈念して一日が終わりました。

## 11月22日

### ホストファミリーとの一日

5日目は、多くの団員がホストファミリーと紅葉の京都や奈良を訪れ、楽しい思い出を作りました。中には団員とカラオケを楽しんだ家庭もありました。

ホストファミリーとの食事では、たこ焼き、焼き鳥、串かつ、カレー、寿司などが好評でした。



つかしんのアウクスブルク市章を模ったモニュメントの前で

### ウーリヒ・ミュルエッガー(団長)

日曜日、自由な一日。青年使節団の公式日程にはそう記されています。団員は一日ホストファミリーと自由に過ごしているので、団長の私と副団長のピア・シャラーは、尼崎市の職員と共に古都京都を訪問しました。ただ、他の日本人旅行者もたくさん京都にやってくるので、電車はぎゅうぎゅう詰め、観光地ではなかなか通り抜けできず、道路も渋滞でした。

京都はお寺のほかに庭園が有名で、ちょうど木々が魔法のように色づき、紅葉が多くの人々を引き寄せていました。この日は、日本に来て初めての雨でしたが、行程に支障が出ることはありませんでした。たった一日では、限られた数の観光名所にしか行けませんが、かつて將軍の居城であった二条城や、1001体の等身大の仏像がある国宝三十三間堂、世界最大の木造建築物がある東本願寺などを訪れました。こうした数々の名所を有する京都は、まるで巨大な映画館のようでした。

明日はいよいよスーツケースに荷物を詰めて、火曜日の長浜市への出発に備えなければなりません。その前にあと一日、尼崎市でのプログラムがありますが、ぎっしり内容が詰まった一日になりそうです。

## 11月23日

### つかしん訪問

ショッピングセンターのつかしんでは、アウクスブルク市の街並みを模った内装や建物に皆感激しました。

### アウクスブルク市紹介展

次に団員たちは、総合文化センター4階美術ホールで開催されているアウクスブルク市紹介展を見学しました。紹介展では、アウクスブルク市から贈られたパネルのほか、姉妹都市提携50周年記念切手にも採用された大音恭豊氏のイラスト、尼崎市役所写真部の作品(過去にアウクスブルク市から尼崎に贈呈された記念品の写真)などが展示されており、団員たちは見知った町並みの絵や知人の写真に興味を引かれていました。



アウクスブルク市紹介展(11月12日~23日開催)

また、団員たちは、会場でアウクスブルクの町並みを描くイラストレーターの大音恭豊氏と対面しました。大音氏からは、団員全員の似顔絵のプレゼントというサプライズもありました。大音氏の心のこもったプレゼントに、団員たちも大喜びでした。



団員の似顔絵を描く大音さん



本当にそっくりですね！

### 茶道体験教室

次に団員たちは、総合文化センターで茶道(抹茶)を体験しました。初めての茶道の作法に戸惑いつつも、先生方に手取り足取り教えられながら、挨拶の仕方やお菓子の取り方、お茶の飲み方を教わりました。ただ、団員たちにとって慣れない正座を続けることは、予想以上に大変なようでした。



茶道体験教室

### COCOE 訪問

その後、グランドオープンしたショッピングセンターCOCOEを見学し、日本の小物や衣服など、アウクスブルク市の家族や友人に思い思いのお土産を買っていました。

### フェアウェルパーティー

尼崎での最後の夜を、ホストファミリーや市民の皆さんとともに過ごしました。

団員たちはこの日のために演目を何ヶ月もかけて練習し、準備していました。団員それぞれがアウクスブルク市内のお気に入りのスポットを紹介したビデオや、ドイツや日本の歌、モーツァルトの会話劇などが披露され、会

場は大きな拍手に包まれました。

演目を成し遂げた団員たちは、終了後も達成感と高揚感に満ちていました。



演目を披露する団員



最後に全員で集合写真

### アウクスブルク市青年使節団

#### フェアウェルパーティー演目プログラム

- 1 ウーリッヒ・ミュルエッガー団長のあいさつ
- 2 団員自己紹介
- 3 日本の歌合唱「宙船」(TOKIO)
- 4 ビデオ発表「アウクスブルクお気に入りの場所」
- 5 モーツァルト「Bona Nox(おやすみ お前は本当にお馬鹿さん)」合唱
- 6 日本語会話劇「モーツァルトとアウクスブルクの従妹ベズレ」
- 7 ベートーベン「第九: 歓喜の歌」合唱

カリーナ・シモーネ・ブプリス(20歳女性、大学入学資格取得者)

尼崎市滞在最後の一日は、アウクスブルク市から尼崎市に贈呈された記念碑の見学で始まりました。その後、マイクロバスでショッピングセンターのつかしんへ行き、店内を案内していただきました。その後、買い物の時間がありましたが、大きなショッピングセンターだったので少し時間が足りないように感じました。

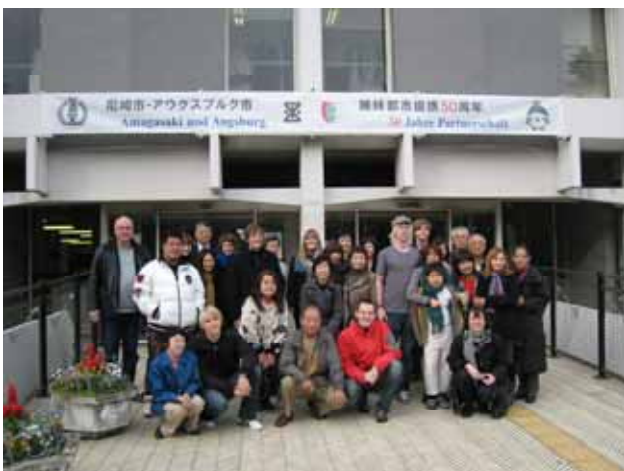
その後に行った昼食会場では、スープとメインディッシュのオムライスを食べました。昼食後にアウクスブルク市紹介展を訪れ、さらに茶道教室に参加しました。

この後、再度ショッピングセンター(COCOE)を訪れる予定で、ここでようやく十分な買い物の時間が取れそうです。その後は、フェアウェルパーティーのためのリハーサルを始めます。ホストファミリーが喜んでくればいいなと思っています。

## 11月24日

### 出発日

いよいよ尼崎を出発する日になりました。見送りにきたホストファミリーの皆さんと別れを惜しみ、再会を誓い合っていました。団員の一人は、「生活様式の大きな違いや意思疎通の難しさに最初は不安でしたが、ホストファミリーに温かく迎えられ、最後は本当の家族の一員のように感じる事が出来ました。別れ際には涙が溢れ、多くの団員が再び尼崎市を訪れると誓いました。」と語っていました。



ホストファミリーの皆さんとの記念写真

## アウクスブルク市青年使節団 名簿

### 【団長】

ウーリッヒ・ミュルエッガー (Ulrich Müllegger)

### 【副団長】

ピア・シャラー (Pia Schaller)

### 【団員】

カリーナ・シモーネ・ブプリス (Carina Simone Bublies)

グレゴア・フライ (Gregor Frey)

マルヴィン・ゲルナルト (Marvin Gernart)

クリスティアン・ハイディングー (Christian Heidinger)

イリヤ・マナコフ (Ilija Manakov)

ユリアン・ペール (Julian Peer)

デスピーナ・レーパ (Despina Repa)

マルレーネ・ルドルフ (Marlene Rudolph)

アンナ・マリア・シュミット (Anna Maria Schmidt)

ロニヤ・シュワーブ (Ronja Schwab)

### 【通訳】

原 修子